

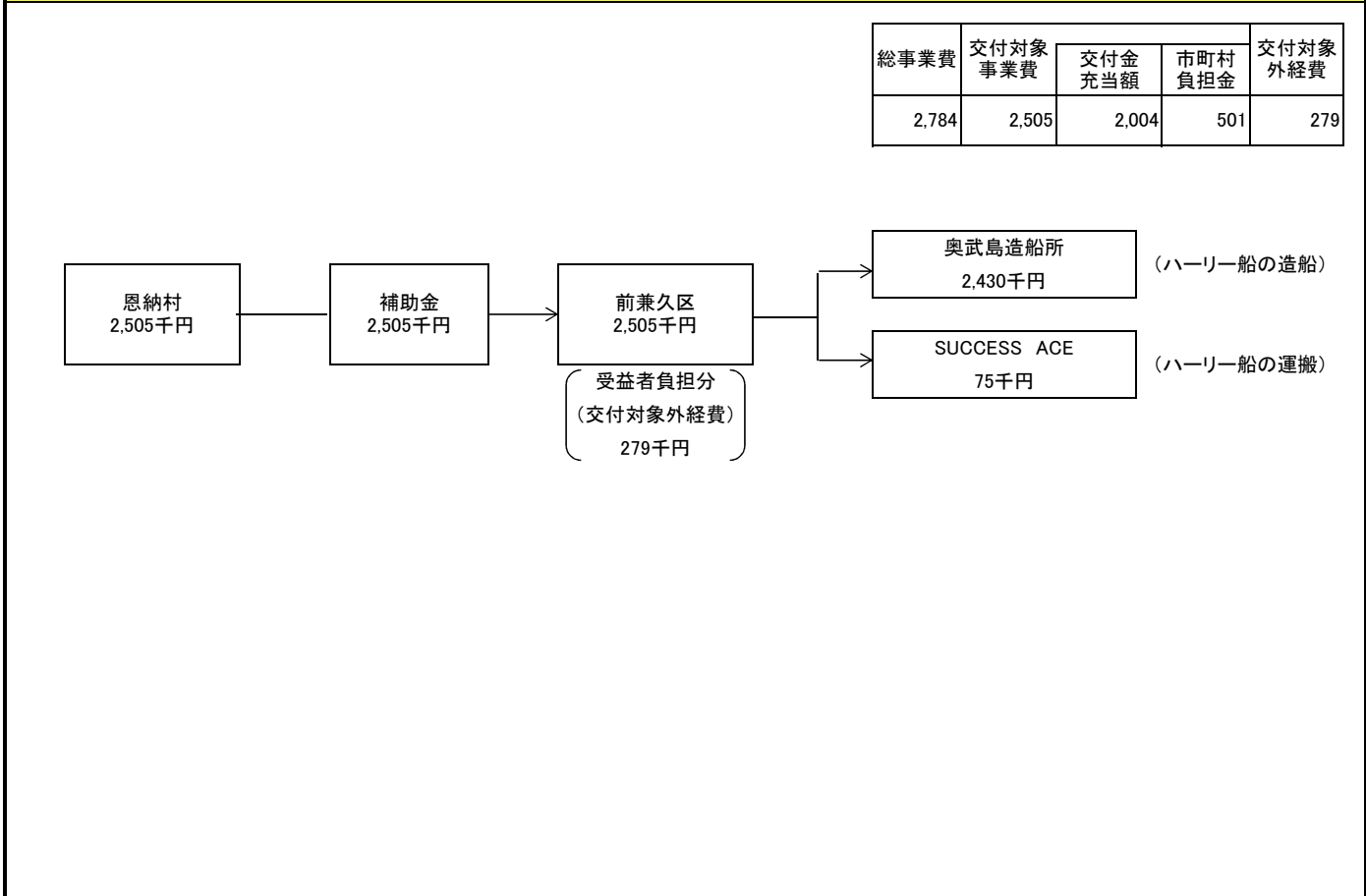
市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	ハーリー船購入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光資源のひとつとして盛り上がりを見せるハーリー行事を継承することにより沖縄らしい風景の観光のまちづくりによる受け入れ体制の充実を図るため、ハーリー船購入費用を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		3,150				
			2,505				
			▲ 645				
			-				
	B. 執行済額		2,505				
	うち交付金充当額		2,004				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
	予算の状況の説明		増減額645千円については、当初、権(ウエーク)についても諸経費として計上していたが、既存の権を使用すること、また、ハーリー船造船見積を消費税込みで予算計上していたが、恩納村ハーリー船購入事業補助金交付要綱において、消費税抜価格で補助するものとしたことによるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	ハーリー船購入費の支援	目標	(3隻)	()	()	()	
		実績	3隻				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	恩納村前兼久区へ補助金を交付し、前兼久区がハーリー船を3隻購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	前兼久漁港ハーリー行事での活用準備	目標	()	ハーリー行事での活用準備	()	()	()
		実績		活用準備の実施			
	修学旅行等の体験学習での活用	目標	()	体験学習での活用	()	()	()
		実績		活用準備の実施			
	進捗状況説明	平成28年1月15日にハーリー船が整備され、平成28年6月に実施される前兼久ハーリーに向けて、参加団体等の練習に活用されている。修学旅行等の体験学習については村観光協会と連携し体験学習メニューを検討中である。平成28年5月15日には、青年会、成人会、子ども会による進水式が行われた。ハーリー船を活用した観光メニューの開発に取り組む必要がある。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>村内の主要宿泊施設に隣接する地域において行われる伝統行事ハーリーは、地域や県内はもとより、県外からの観光客の認知度も高く、沖縄の風景に親しむイベントとして毎年賑わいを見せている。</p> <p>ハーリー船を整備し、行事を継承することにより、沖縄の魅力を発信する良い機会となり、観光客の誘客促進へつなげ、村内の観光入域客数の増加による地域振興を目指す。</p> <p>修学旅行生や観光客等を対象とした体験メニューを開発し、新たな事業や雇用を創出するため村観光協会と連携し、運営方法等を検討する。</p>	<p>村内外の多くの方に活用してもらうため、体験学習等で活用するため観光協会と連携した受入体制の整備や情報発信が必要である。</p>

今後の取り組み方針

- ・ハーリー船を活用した体験学習メニューの検討
- ・ハーリー船を活用した体験学習メニューのPR及び活用促進
- ・村行政や村観光協会と連携し、観光メニューの開発に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○前兼久区へ補助金を交付し事業を実施。ハーリー船を管理、運営する団体への補助であったため、補助先の選定については妥当であったと考える。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○消費税分645千円の減があったが、交付要綱に基づき実施し、適正な規模であった。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である前兼久区は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業負担割合から判断しても妥当であった。
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については精算段階で精査を実施しており、目的に即し、必要なものであった。

資金の流れ、費目の点検評価

市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		恩納村「みどりの回廊」整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
	担当部署名	工商観光課		事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	魅力ある観光地づくりを行うため、保安林に村木であるフクギを植栽することで、風による被害対策をすともにも景観づくりを行う。また国道58号線及び村内景勝地周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化へ繋げる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000	16,220	10,000	12,000	
		(b) 予算現額	11,004	10,763	8,100	10,044	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 8,996	▲ 5,457	▲ 1,900	▲ 1,956	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		11,004	10,763	8,100	10,044	
	B. 執行済額		11,004	10,762	7,137	10,044	
	うち交付金充当額		8,803	8,609	5,709	8,035	
	次年度繰越額		-	-	-	-	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	88.1%	100.0%	
予算の状況の説明		入札残により、1,956千円を減額補正した。当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標・成果目標を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	国道58号線沿道、村内景勝地、保安林等への植栽、剪定等の実施	目標	(380本)	(400本)	(植栽の実施)	(植栽の実施)	
		実績	429本	2,222本	植栽の実施	植栽の実施	
	海浜漂着ゴミ除去の実施	目標	(11カ所)	(11カ所)	(漂着ゴミの除去の実施)	(漂着ゴミの除去の実施)	
		実績	11カ所	11カ所	漂着ゴミの除去の実施	漂着ゴミの除去の実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプ施設周辺にヤシの木や村木であるフクギを植栽し、南国らしい景観形成ができた。 ・観光地やそのアクセス道の草刈り、海浜における漂着ゴミを処理することで魅力ある景観づくりができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	魅力ある観光地の形成	目標	()	(魅力ある観光地の形成)	()	()	()
		実績		魅力ある観光地の形成の実施			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は、赤間総合運動公園を中心にヤシの木や村木であるフクギを植栽し魅力ある見せ場を作ることができた。 ・漂着ゴミの除去により、魅力ある景観を提供できた。昨年に引き続き村内海浜でのウエディング撮影も良く見かけられ、良い景観を提供できている。 					

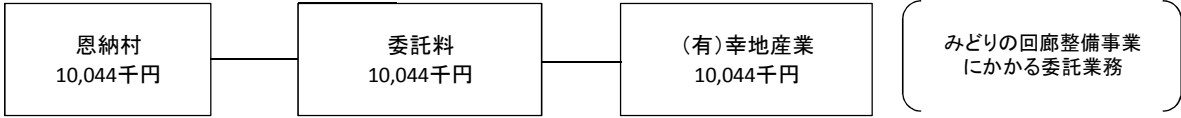
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽による景観づくりを実施してきたが、国道等の除草対策を求める声が多かった。 ・植栽した植物への定期的な管理が必要である。(散水・草刈り・肥培管理) 	<p>平成24年度から継続して実施しているが、国道バイパスや新たな観光施設等により植栽エリアや植栽の種類等を見直す必要がある。除草対策の検討も必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係団体と協力し、役割分担をし管理する。

今後の取り組み方針

- ・除草対策、植栽エリア等の見直しを検討するため事業を休止する。
- ・植栽個所の定期的な管理をしながら、観光地としての景観・美観の創出に向けて計画していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
10,044	10,044	8,035	2,009	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は村内の造園業者の中から指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ○費用については委託設計書を作成しており、支出等はそれに基づいて行われており適正であった。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	前兼久漁港防犯施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	多くのダイビング客が訪れる前兼久漁港南側には照明施設がなく、夜間から早朝にかけての盗難被害が発生しているため、防暑施設に防犯灯及び防犯カメラを設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	(a) 当初予算額	19,000					
	(b) 予算現額	15,480					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,520					
	(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	15,480					
	B. 執行済額	12,736					
	うち交付金充当額	10,188					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	82.3					
予算の状況の説明	キュービクルの整備が不用となったため、予算3,520千円を減額した。不用額2,744千円については入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	防犯灯の設置	目標	(2基)	()	()	()	
		実績	2基				
	防犯カメラの設置	目標	(1基)	()	()	()	
		実績	2基				
達成状況説明	当初、防犯灯2基、防犯カメラ1基を予定していたが、エリアが広くカバーできないため防犯カメラを1基増加した。防犯灯や防犯カメラの設置により、観光客等の安全・安心な観光地づくりにつなげることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	安全・安心な観光地の形成	目標	()	安全・安心な観光地の形成	()	()	()
		実績		安全・安心な観光地の形成の実施			
	【参考指標】	目標	(3件)	(0件)	()	()	()
	盗難被害の件数	実績		0件			
	進捗状況説明	防犯灯及び防犯カメラの設置により防犯体制が整備され、犯罪抑止が図られた。ダイビング業の安定した運営により、観光漁業の質的充実による観光振興が期待される。					

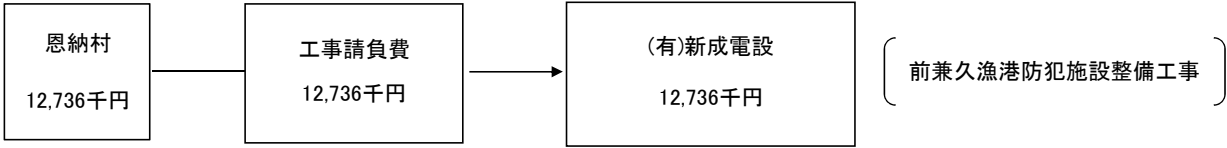
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本魚港は、夏場多くの観光客が集まる魚港で、ダイビングショップが漁業者の船を利用し体験ダイビング等を実施しているが、ガソリン等の盗難により出港の遅れがあり営業に支障をきたしている。</p> <p>本村の重要な観光産業であるダイビング業の安定した運営ができるよう、防犯体制を整備する必要がある。</p> <p>被害を未然に防止することにより、ダイビング業者の安定した運営ができ観光業の増加等、質的充実による観光振興が期待できる。</p> <p>防犯灯・防犯カメラ導入後は盗難の通報がないため、防犯対策としての効果が期待できる。施設を快適に利用できるよう関係機関との情報共有が必要である。</p>	<p>防犯カメラによる監視エリアが充分であるか等、漁協などの関係機関との協議が必要である。</p>

今後の取り組み方針

本施設は、恩納村漁業協同組合が管理していくが、漁港の範囲が広いので、今後組合と連携し、防犯カメラ等でカバー出来ない場所の確認と防犯施設の充実を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,736	12,736	10,188	2,548	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額が2,744千円となったが、当初予定していた事業内容はすべて実施しており、また、見積等により積算しているため、適正な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	恩納海浜公園構内道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	恩納海浜公園構内道路の一部が未舗装であり、不陸により高齢者や身障者の歩行に支障を来しているため、舗装整備を行い、快適な観光施設づくりを実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	(a) 当初予算額	17,000					
	(b) 予算現額	20,500					
	(c) 増減額 (b-a)	3,500					
	(d) 繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	20,500					
	B. 執行済額	18,430					
	うち交付金充当額	14,744					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	71.9					
予算の状況の説明	当初予定していた舗装範囲と隣接する駐車場へのアクセス部分(83㎡)を追加したため、3,500千円を増額したが、入札により2,070千円の不用額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	恩納村海浜公園内の舗装工事	目標	(520㎡)	()	()	()	
		実績	603㎡				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	海浜公園利用者の安全・安心を確保し、快適で魅力ある観光地の機能強化を図るために通路の舗装を実施した。隣接する駐車場へのアクセス部分(83㎡)を追加したことにより、車イス等の利用者にも安全に利用できる施設となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	高齢者及び身障者の利便性及び安全性の確保	目標	()	利便性・安全性の確保	()	()	()
		実績		利便性・安全性の確保の実施			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	舗装の実施により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方に安心して利用できる環境となった。今後も利用者のニーズに応えられるよう海浜公園一帯を整備していく。					

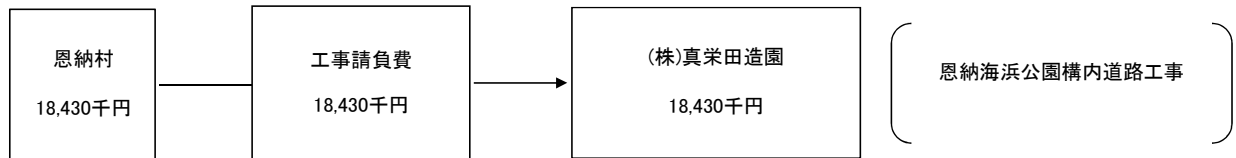
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>多くの観光客が訪れる恩納村海浜公園だが、一部未舗装により高齢者や身障者の歩行に支障を来していたため、舗装工事を実施した。</p> <p>恩納村海浜公園を整備することにより、誰でも利用しやすい観光施設をめざす。</p> <p>高齢者や身障者等がスムーズに利用できるよう改善された。</p> <p>指定管理者と連携し、利用者に不便を来していないかなど協議していく必要がある。</p>	<p>海浜公園利用者の安全・安心を確保し、快適で魅力ある観光地の機能強化を図るため、施設内を点検する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

本施設は、株式会社ナビーが指定管理を受け管理しているが、海水浴場が目の前にあり、村内外の多くの方が利用するため、施設の安全・安心を確保していく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,430	18,430	14,744	3,686	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額が2,070千円となったが、当初予定していた事業内容はすべて実施しており、また単価等により積算しているため適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

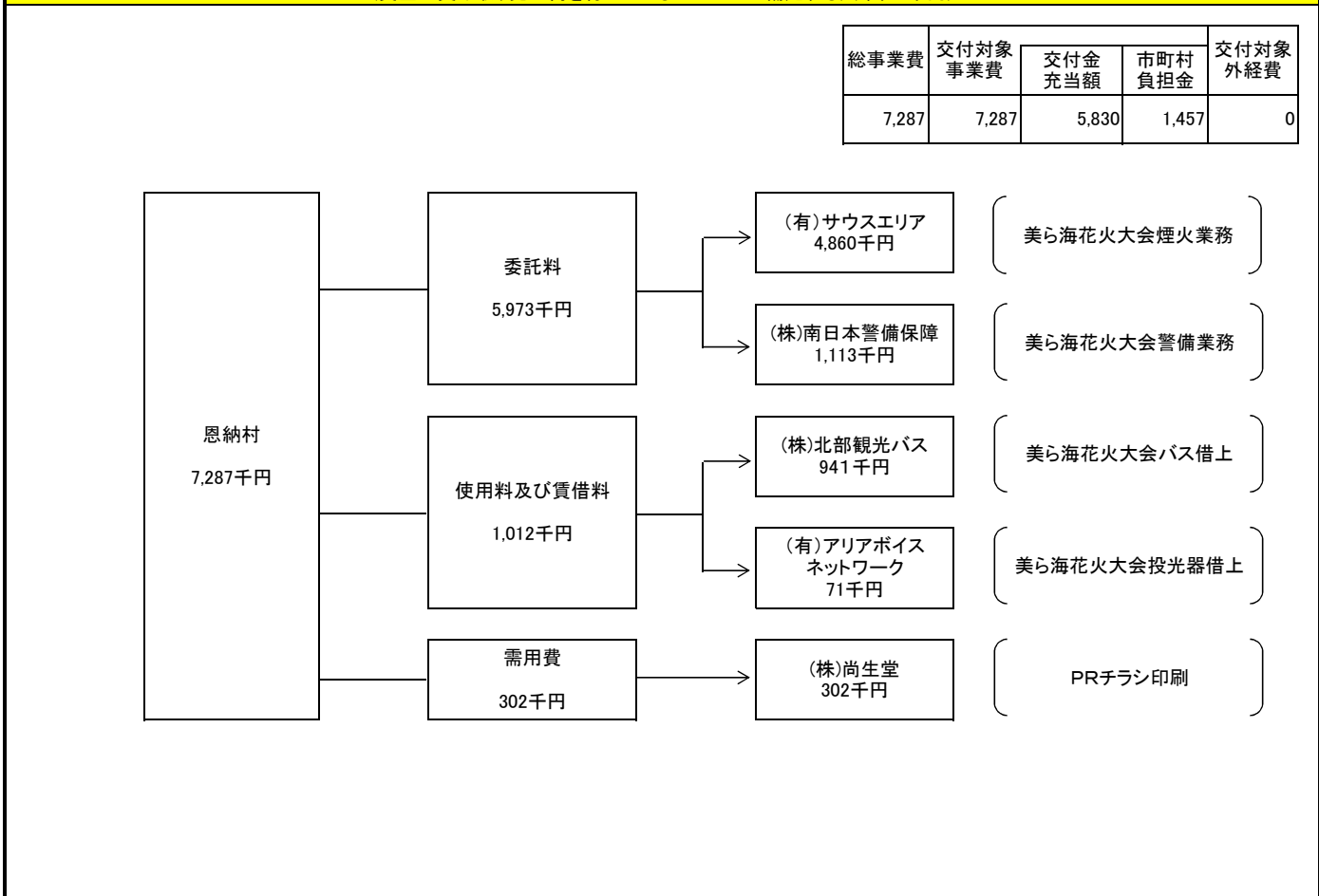
市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	恩納村美ら海花火大会事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	トップシーズンに恩納村を訪れている観光客等に対し、恩納村の観光資源である海浜等において大花火大会を実施し、恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		6,994				
			7,290				
			296				
			-				
			7,290				
	B.執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		7,287				
			5,830				
			0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明	うんなまつりと同時開催を予定していたが、花火直前の悪天候により、延期となった。それに伴い開催場所を主要ホテルが集中する場所に変更したため、警備員の増員とシャトルバスの増便により増額した。日程は変更となったが、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	・美ら海花火大会の開催	目標	(花火大会の開催)	()	()	()	
		実績	花火大会の開催の実施				
	・シャトルバスの借用	目標	(10台)	()	()	()	
		実績	14台				
	・PRチラシの作成	目標	(35,000枚)	()	()	()	
		実績	35,000枚				
	・警備員の配置	目標	(警備員の配置)	()	()	()	
		実績	警備員の配置の実施				
達成状況説明	当初は、7月の「うんなまつり」と同時開催を予定していたが、花火直前の悪天候(豪雨)により花火大会を延期し、村内主要ホテルが集中する場所(打上場所:前兼久漁港)に変更して開催した。シャトルバスについては、日程を変更したことにより4台増となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	同時開催うんなまつり来場者数	目標	(15,100人)	(16,600人)	()	()	()
		実績		17,000人			
	【参考指標】 美ら海花火大会来場者数	目標	()	(-)	()	()	()
		実績		10,000人			
	進捗状況説明	花火大会が急遽延期になったにもかかわらず目標値をわずかに上回り、前年度比で1,900人の増となった。花火大会開始直前に来場した方も少なくなく、集客効果はあったと思われる。イベント主会場ホテルにおいては、花火大会開催により来場者が約10,000人で、まつり同時開催より来場者は少ないものの、主会場以外にも多くの観覧者がいたことから、イベント開催による経済効果をうみ出すことができた。また、新規の誘客を生み出すことで、恩納村へのリピーターへつなげることができたと思われる。主要ホテルのアンケートにおいても、今後も継続してほしいという要望があり、会場だけでなく、クルーザーで観覧するという新たな観光メニューの発掘にもつながった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>トップシーズンに恩納村を訪れている観光客に対し、恩納村の観光資源である海浜等において大花火大会を実施し、恩納村の魅力を発信することにより、観光振興を図ることとしていたが、開催時期の変更(7月→10月)により、例年にはない新たな経済効果があった。</p> <p>また会場での花火観覧サービスや会場周辺における花火大会特別メニューなどが提供され、新たな事業を創出した。</p>	<p>開催時期の変更により新たな経済効果があったため、うんなまつりと同時開催ではなく、新規イベントとして継続的に実施することを検討する。</p>
	<p>しかし、会場周辺において路上駐車による交通渋滞の発生や臨時駐車場利用者のためのシャトルバスが不足したため、一部混乱が生じた。</p>	<p>交通誘導員増員による交通渋滞の解消や、シャトルバス増便による利便性の向上を図る必要がある。</p> <p>花火大会を通して新たな観光産業を興す仕組み・仕掛けづくりを検討する。</p>

今後の取り組み方針

- ・新規イベントとして10月頃に開催し、平成28年度以降も継続して実施する。
- ・会場周辺の駐車場の確保、交通渋滞の解消のための措置を講じる。
- ・観光客等のニーズを把握し、新規イベントや観光メニューの開発に観光協会等の関係機関と連携して取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

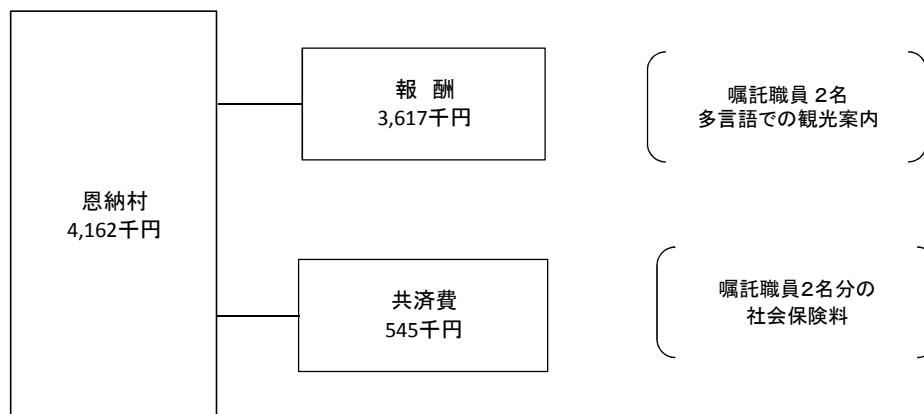
市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	恩納村旅の案内人配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	平成27年4月にオープン予定の恩納村文化情報センター観光情報案内フロアに訪れた観光客等に対し、地域の魅力やイベント等を多言語で紹介できる旅の案内人を配置する。恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,424				
		(b) 予算現額	4,367				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 57				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,367				
	執行の状況	B. 執行済額	4,162				
		うち交付金充当額	3,330				
		次年度繰越額	—				
	執行率 (%) (B/A)	95.3%					
予算の状況の説明	不用額205千円については、配置職員の勤務日数の減によるものであり、当初予定していた事業の内容はすべて実施しており適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	嘱託職員(案内人)の配置	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・多言語による観光案内人を配置することにより、多国籍の方に観光情報を案内することができ、本村の更なる魅力が伝えられた。 ・旬な情報を収集し、随時案内所で発信することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	観光情報案内人数 (恩納村文化情報センター利用者目標人数:60,000人/年の5%)	目標	(-)	(3,000人)	()	()	()
		実績		8,697人			
		目標	(-)	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成27年度の案内人数は、8,697人で、目標の3,000人を大きく上回った。大きく上回った要因としては、施設のオープンに伴う広報活動や視察関係によるもの等が挙げられる。引き続き案内所の周知や地域の情報収集に取り組む。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新設された施設であるため、観光案内所と分かるようにするための工夫が必要である。 ・利用者から外貨両替機や近隣市町村の案内等の情報提供等の要望があった。 ・村内のみならず、他市町村の情報を求められることもあるため、収集方法の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村や観光協会のホームページ等を活用し、継続して情報発信していく。 ・外貨両替機の導入検討、近隣市町村の観光パンフレットの配置を検討し、利用者からの要望や細かな情報収集・提供等については、関係機関と調整しながら推進していく。 ・他市町村の観光協会等から観光パンフレットを取り寄せる等、収集方法を工夫する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・文化情報センター観光案内フロアの周知を強化し、観光協会と連携し運営していく。 ・平成28年度より恩納村観光協会が設立されたため、連携しながら良好な観光案内所を築く。 ・地域に密着した情報を提供できるよう情報収集を継続する。 ・他市町村の詳細な情報提供については、関係市町村につなげる等スムーズな対応ができる体制を整える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,162	4,162	3,330	832	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○嘱託職員の採用方法について、公募による採用1名と経験者1名を採用し、妥当と考える。 ○予算については、村の規則に準じて積算しており、適正であったと考える。 ○費目、用途については事業目的に即し、必要なものであり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	恩納村フオトスポット設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年度～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	リーガルウェディングやリゾートウェディング等で恩納村を訪れる方に「恩納村」らしいフオトスポットを設置し、魅力ある恩納村を発信することにより、更なる国内外への観光客に満足していただける恩納村を目指す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,240				
		(b)予算現額	3,024				
		(c)増減額(b-a)	▲216				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	3,024				
	執行の状況	B.執行済額	3,024				
		うち交付金充当額	2,419				
		次年度繰越額	—				
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	入札残により、216千円を減額補正した。当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	フォトスポット設置1か所 (年4回装飾内容を更新する)	目標	(フォトスポットの設置)	()	()	()	
		実績	フォトスポットの設置				
	(指標)	目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	フォトスポットを設置し、計画どおり年4回の装飾内容の更新も実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	リゾートウェディング(リーガルウェディング含む)受付件数 (平成26年受付件数308件の5%増)	目標	()	(323件)	()	()	()
		実績		230件			
	(指標)	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の受付件数には達しなかったが、リーガルウェディングは増加した。手続きの際には家族・知人らと一緒に利用してもらい、新婚最初の思い出を残す場を提供することができた。 ・リゾートウェディングは全県的には増加しているが分散化の傾向がある。県全体として増加していく取り組みを、沖縄県リゾートウェディング協会等の関係団体と連携し強化する。 ・フォトスポットの周知が不足していたため、HPへの掲載や関係機関等へ周知することも必要である。 					

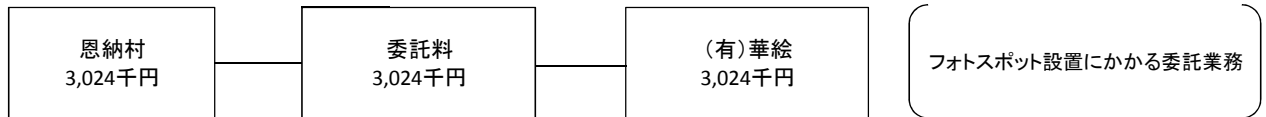
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回装飾内容を更新し、平成33年度まで継続する予定だったが、4シーズン分のセットが作成されたため、作成されたセットを季節ごとに入替えることで対応可能ではないかと判断した。 ・窓口で手続きをした方への周知は常に行っているが、広報が十分でなかった。 ・リゾートウェディングは全県的には増加しているが、分散化傾向にあるため受付件数が減少した。フォトスポットの周知や恩納村の魅力を発信し、フォトスポットの活用を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4セットを入替えるため、平成33年度までの継続事業を平成27年度限りの実施とした。 ・HPや関係機関と連携し、周知を強化する必要がある。 ・沖縄県リゾートウェディング協会等と連携し、県外・海外でのプロモーション等でPRする。また、ブランド化(差別化)できる取り組みを検討する。

今後の取り組み方針

- ・リゾートウェディングやリーガルウェディングを契機にリピーターとなってもらえるような取組を検討する。
- ・観光協会等の関係機関と連携し、新たなフォトスポットの形成を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,024	3,024	2,419	605	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ○費用については委託設計書を作成しており、支出等はそれに基づいて行われており適正であった。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

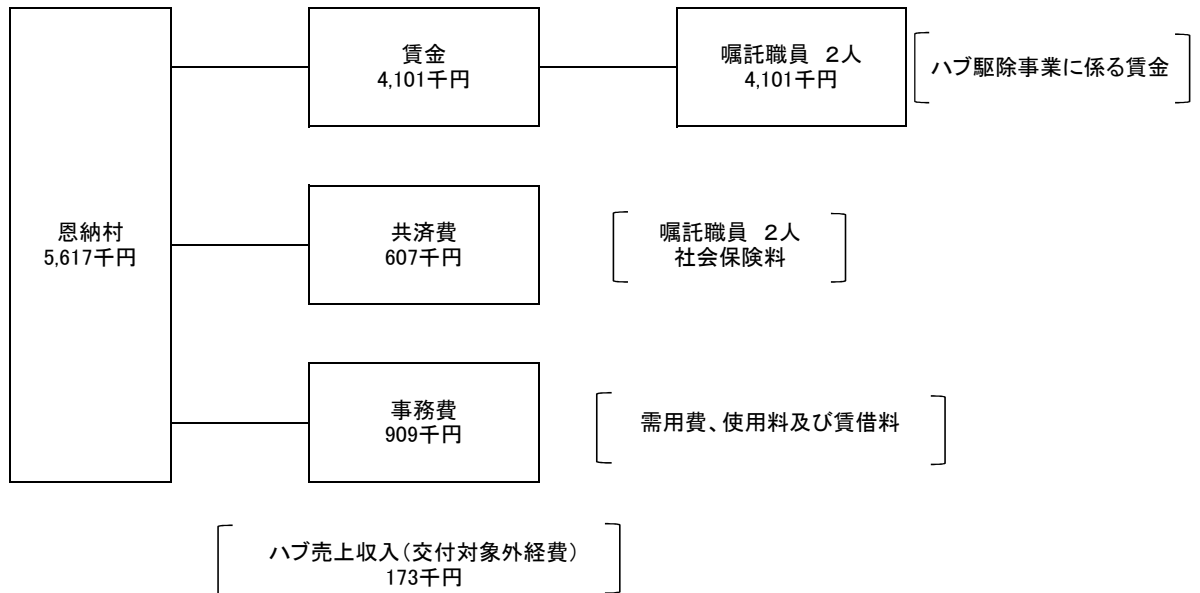
市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成24~27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	外来種の台湾ハブや台湾スジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺での散策者への咬症事故が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	4,063	5,000	4,877	5,865		
	(b)予算現額	4,043	5,000	4,902	5,662		
	(c)増減額(b-a)	▲20	0	25	▲203		
	(d)繰越額	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	4,043	5,000	4,902	5,662		
	B.執行済額	4,032	4,811	4,902	5,617		
	うち交付金充当額	2,438	3,848	3,921	4,494		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.7%	96.2%	100.0%	99.2%		
予算の状況の説明	ハブ収入売上げ(交付対象外経費)と不用額により203千円の予算減額となった。予算現額と執行済額の差額が45千円あるものの当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	
		実績	386箇所	420箇所	450箇所	450箇所	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・観光地周辺を中心に、村内南部の台湾ハブ生息地にハブトラップ(罠)を設置して捕獲した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	ハブ捕獲数	目標	()	(180匹)	(180匹)	(180匹)	()
		実績		191匹	165匹	114匹	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・活動目標の捕獲器設置数は上回ったが、捕獲数は目標を達成することができなかった。カラスによる捕獲器への悪戯(捕獲器が開けられてマウスが逃げてしまいハブが入らない)が確認されたため、カラス対策をする必要がある。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブ生息地拡大が予測されるため、捕獲器設置エリアの拡大が必要である。 ・キビ刈り体験学習やレンタカーでの移動等により観光客が訪れる場所は変化しており、観光地以外の農地や集落への捕獲器設置も必要である。 ・カラス等による捕獲器への悪戯(ハブ捕獲器が開けられて、マウスが逃げたてしまいハブが入らない)が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き駆除事業を継続的に実施し、ハブ生息地と非生息地の境界を重点区域として、生息地拡大を防止する。 ・ハブ捕獲器への悪戯によりハブ捕獲数が減少しているため、パトロールや悪戯への対策を強化し、対策後のハブ捕獲状況により今後の対策を検証する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・駆除事業を継続的に実施することにより、観光客や地域住民の危険を除去し更なる安全・安心な観光地を目指す。 ・新たな捕獲器設置エリアの検討及びハブ生息地と非生息地の境界へ重点的に設置することにより、生息地拡大を防止する。 ・カラス等による捕獲器への悪戯対策を強化し、ハブ生息地エリアを調査する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,790	5,617	4,494	1,123	173



資金の流 れ、費 目・ 費目 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。 ○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。 ○費目、使途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	沖縄関連資料整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	III-1-(1)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)	(a) 当初予算額	52,221				
		(b) 予算現額	14,559				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 37,662				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	14,559				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	14,558				
		うち交付金充当額	11,646				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初4,390点の資料等を購入する予定だったが、稀観書の購入を取りやめたこと、また、既蔵書、在庫の確認を行ったことにより購入リストに重複が確認されたため、資料数が2,021点となった。購入資料数の減及び入札残により予算37,662千円を3月補正で減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
		27年度	28年度	29年度	30年度		
	映像・音楽・図書などの沖縄関連資料の購入 稀観書	目標	(90冊)	()	()	()	
		実績	13冊				
	視聴覚資料 沖縄関連図書	目標	(400点)	()	()	()	
		実績	185点				
	目標	(3,900冊)	()	()	()		
実績	1,823冊						
達成状況説明	当初、稀観書90冊、視聴覚資料400点、沖縄関連図書3,900冊を購入予定であったが、入札時に絶版並びに重複などの確認を行なった結果、購入予定冊数が減少した。確認後のリストにより設計書を作成し購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	観光客等の資料の利用	目標	()	(200冊)	()	()	()
		実績		701冊			
	宿泊施設への貸出	目標	()	(2施設(100冊))	()	()	()
		実績		2施設(193冊)			
進捗状況説明	観光客(県外利用者)への貸出冊数は701冊、村内のリゾートホテル2施設に193冊を貸し出しており、目標値を上回った。ただし、本事業により購入した資料は、平成27年度末に購入しており、実績数値は既蔵書の貸し出し冊数である。購入した資料は、平成28年度より貸出しており、観光客等への利用促進を図ることが必要である。						

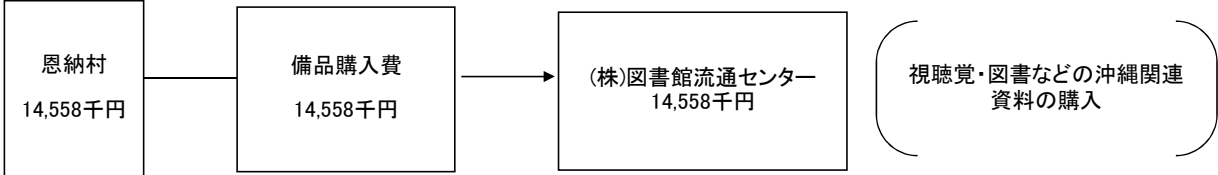
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 文化情報センターには沖縄関連図書が少なかったため、郷土の文化・歴史・観光等に関する図書資料の確保に取り組んだ。 購入にあたり、購入リストの確認を数回実施したが、絶版資料及び寄贈などにより既に所蔵している資料があり、複数冊重複する場合は、職員で検討し購入リストを再確認したため購入冊数の減となった。 宿泊施設への貸し出しについては、村内の宿泊施設を対象に説明会を設け、資料貸出の周知を図った。貸出希望施設が2施設あり2施設とも実施している。利用施設からは好評をいただいている。 観光客への貸出は県外利用者の貸出状況を反映していて、長期滞在者が多いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客並びに村内外の方へ沖縄関連資料を周知し、郷土の文化や歴史の情報発信に努め、観光資源として活用を図る。 村内の宿泊施設へ利用状況等を発信し、周知活動に努め、利用施設の拡充を図る。 観光客への利用サービスについて、観光協会、観光関連業者と連携し、多様なサービスの開発に努める。

今後の取り組み方針

- 購入した沖縄関連資料を恩納村広報誌において周知する。
- 恩納村農水産物販売センターと連携し、村外並びに県外の方への貸出サービスについて周知活動に取り組む。
- 文化情報センターホームページによる広報を実施し、資料の貸出サービスの周知を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,558	14,558	11,646	2,912	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、購入資料の見直し等を実施したことにより37,662千円の減額となったが、沖縄関連資料に限定しており、事業内容に見合った適正な規模に縮小した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	「谷茶前の浜」整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前節」で知られる「谷茶前の浜」周辺を恩納村の文化の発信に寄与する観光地として整備する。
------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額	61,529				
	(b) 予算現額	19,971				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 41,558				
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	19,971				
	B. 執行済額	19,494				
	うち交付金充当額	15,595				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	97.6%				
予算の状況の説明	当初、予定していたメロディーロードの整備が道路管理者に認められなかったため実施に至らず、予算22,927千円を減額した。また、用地購入778㎡を予定していたが、必要最小限の278.97㎡となり、購入面積の減により予算を減額したものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
駐車場等の用地購入	目標	(778㎡)	()	()	()
	実績	278.97㎡			
駐車場及び石碑建立の実施設計	目標	(実施設計の実施)	()	()	()
	実績	実施設計の実施			
メロディーロード整備工事	目標	(412m)	()	()	()
	実績	0m			
達成状況説明	用地購入を778㎡予定していたが、必要最小限の278.97㎡を購入し、△499.03㎡の面積減となった。実施設計については、当初計画通り完了した。当初予定していたメロディーロードの整備が道路管理者に認められなかったため実施に至らなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
			駐車場等の用地購入の完了 実績	()	(用地購入の完了)	()
H28駐車場及び石碑建立工事にに向けた実施設計の完成	目標	()	(実施設計の完成)	()	()	()
	実績		実施設計の完成			
新たな観光スポットの形成	目標	()	(観光スポットの形成)	()	()	()
	実績		観光スポットの形成準備			

進捗状況説明	平成27年度に用地購入及び実施設計を実施。H28年度は実施設計を基に駐車場及び石碑の整備を実施し、安心、安全で魅力ある新たな観光スポットとして、本村並びに沖縄県の観光振興を図る。
--------	---

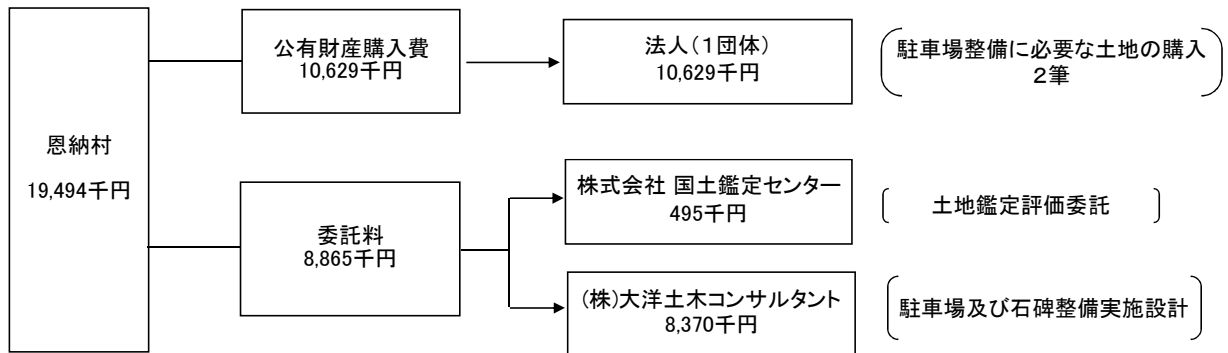
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村を代表する「谷茶前節」は、沖縄民謡で多くの人に知られているが、その谷茶前の浜を眺める環境が整っていない。 ・駐車場及び石碑を整備することにより、恩納村の文化の発信に寄与する新たな観光地として本村並びに沖縄県の観光振興を図る。 ・メロディーロードの整備について、道路法第32条の占用には該当しない、管理・供用している道路に他の管理者が入ることは厳しい等の理由により関係機関との調整が不調に終わったため、取りやめることとなった。 ・駐車場等の用地については、各関係機関との調整の結果を基に必要最小限の購入となった。 ・観光地として整備を行うため、防犯設備の設置及び「谷茶前節」の効果的な周知方法を検証し設計を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に際しては関係機関とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事態が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定で取り組む。 ・安心、安全な観光スポットとして活用できるよう、防犯灯や防犯カメラを設置し、「谷茶前節」の音声案内機能を加えることにより、効果的な周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・工事実施に係る期間については、準備工や擁壁工等に要する日数も検証し、事業が年度内に完了するよう、適正工期を設けた事業実施に取り組む。
- ・駐車場及び石碑整備後の管理などについて関係者と引き続き協議を行う。
- ・今後は、村ホームページや広報により周知し、観光協会、地元谷茶区などの関係機関と協力し、新たな観光スポットとしての形成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,494	19,494	15,595	3,899	0

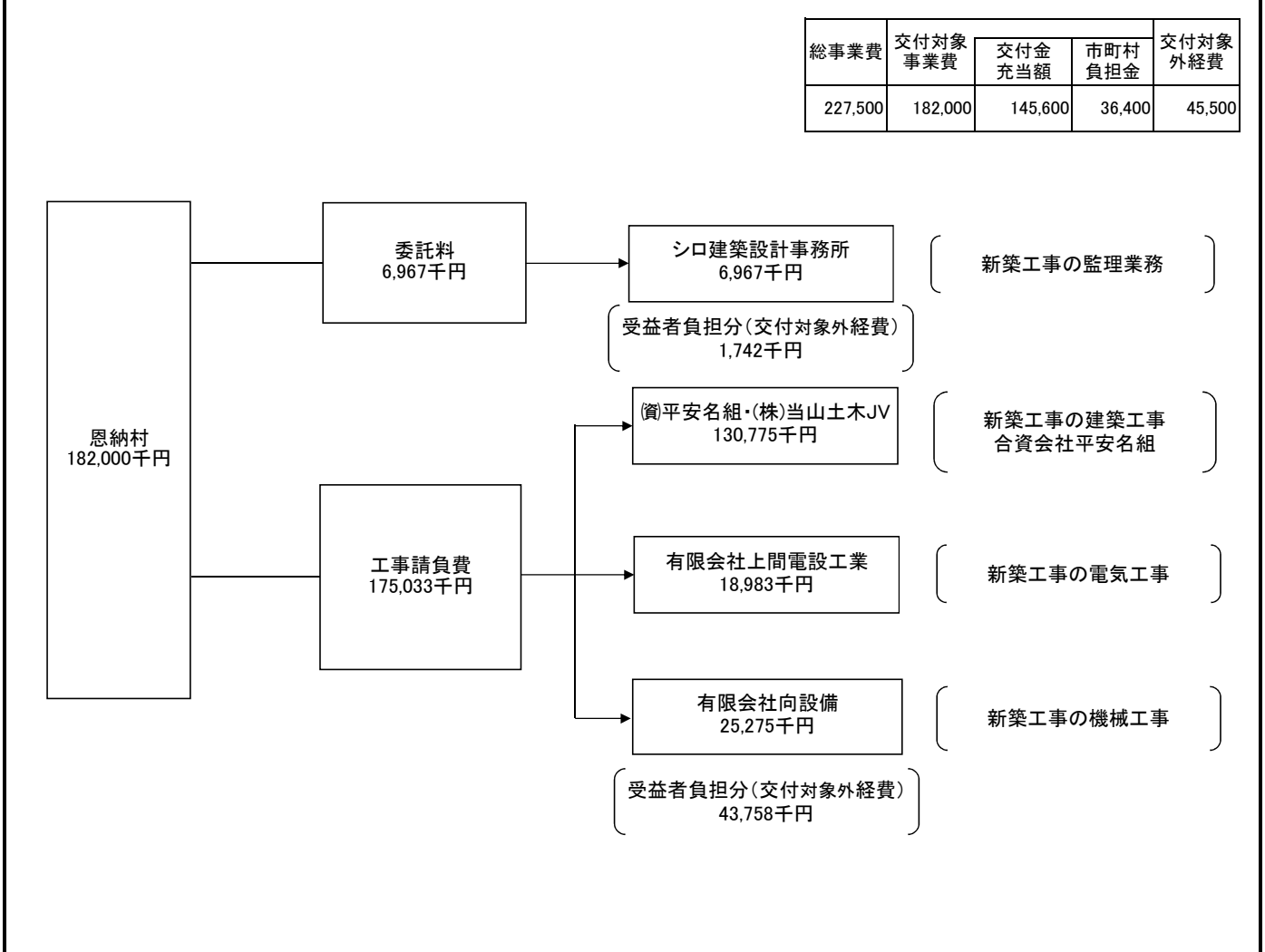


資金の用途の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模に縮小した。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑫		前兼久区交流施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)		
	担当部署名	企画課		事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容		前兼久区において、ハーリー等の伝統行事を通じた観光客との交流・体験学習を実施し、伝統芸能継承、各種団体活動などの多様な活動を推進するため、交流施設を整備する。					Ⅲ-1-(1)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a)当初予算額	89,600					
		(b)予算現額	182,000					
		(c)増減額(b-a)	92,400					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	182,000					
	B.執行済額		182,000					
	うち交付金充当額		145,600					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初、工事の進捗が早まったことや他の事業の執行残等により、10月の変更において、92,400千円を増額し事業促進を図った。当初予算については、積算に基づき適切であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	交流施設整備工事全体の80%の実施	目標	(出来高80%)	()	()	()		
		実績	出来高80%					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	前兼久区交流施設の整備について、当初工事全体の40%完了を目標としたが、事業の進捗状況や予算増額により、年度途中で80%を目標として変更し達成できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	交流施設整備工事全体の80%の完了	目標	()	(全体の80%)	()	()	()	
		実績		全体の80%				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	H27年度事業により交流施設整備全体の80%の整備が完了した。残部分の工事は28年度事業として実施した。この事業の完了により、観光交流事業や地域の各種活動拠点として寄与することが期待できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業推進上の留意点については、隣接する漁港やそこに訪れる観光客にも影響は出ておらず、また当初の成果・活動目標よりも事業の進捗が早くなっていることから特に問題はないと考える。	工事の進捗については、事業工期の短縮により、平成28年のハーリー(海神祭)までに完成できた。このため事業効果の早期発現が図られるなど、改善の必要はないものと考えられる。
今後の取り組み方針		
今後は観光客等利用者が、さらに快適で安全に施設を活用できるような工夫を行うほか、新たな観光交流事業の展開を検討する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○工事、委託業者は指名競争入札で選定しており妥当である。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中で予算を増額したが不用額は発生しておらず適正な規模であった。
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である地元自治区は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算し検査を実施しており、事業目的達成に必要なものと判断した。

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	沖縄特殊戸籍電算化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-(イ)	
担当部署名	村民課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決		
事業内容	沖縄の戸籍は戦後生存者の記憶をもとに申告された重要な書類である。現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存のため劣化が著しい。今後も安定かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため電算化を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	20,753				
		(b)予算現額	20,754				
		(c)増減額(b-a)	1				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		20,754				
	B. 執行済額		20,753				
	うち交付金充当額		16,602				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	沖縄特殊戸籍のイメージ電算化 仮戸籍申告書	目標	(18,124枚)	()	()	()	
		実績	17,864枚				
	臨時戸籍	目標	(3,138枚)	()	()	()	
		実績	3,117枚				
	福岡戸籍	目標	(902枚)	()	()	()	
		実績	898枚				
	受附帳	目標	(2,655枚)	()	()	()	
		実績	2,660枚				
達成状況説明	電算化が必要な沖縄関係戸籍(仮戸籍申告書・臨時戸籍・福岡戸籍・受附帳)合計24,539枚を電算化した。目標数と実績数に280枚(1%)の差異があるが、それはイメージ電算化対象の精査によるものである。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	沖縄関係戸籍の電子化率	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	情報資産の劣化・滅失防止	目標	()	(劣化・滅失の防止)	()	()	()
		実績		劣化・滅失の防止実施			
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍の100%電子化により、劣化、毀損、滅失の危険の回避。重要書類の確保及び事務の効率化が可能となった。平成28年3月15日よりシステムを本稼働している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	電算化したことにより定期的にシステムのメンテナンスを行う必要がある。	沖縄関係戸籍システムの運用及び事務処理に必要な専門知識を高められるよう職員の研修に努める。
今後の取り組み方針		
システムが円滑に機能するよう適切に維持管理し、今後の戸籍事務が迅速かつ効率的に行われるよう職員研修に努め、住民サービス向上を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	20,753	20,753	16,602	4,151	0
<pre> graph LR A[恩納村 20,753千円] --> B[委託料 20,753千円] B --> C[株式会社オーシーシー 20,753千円] subgraph D [] C end style D fill:none,stroke:none </pre>					

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、現システムとの相互関連性を勘案した上で、随意契約しており妥当と考える。(地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づく) ○予算規模については、電算化予定枚数により見積りを聴取しており適正であった。 ○費目・用途については事業目的達成のために必要であり、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

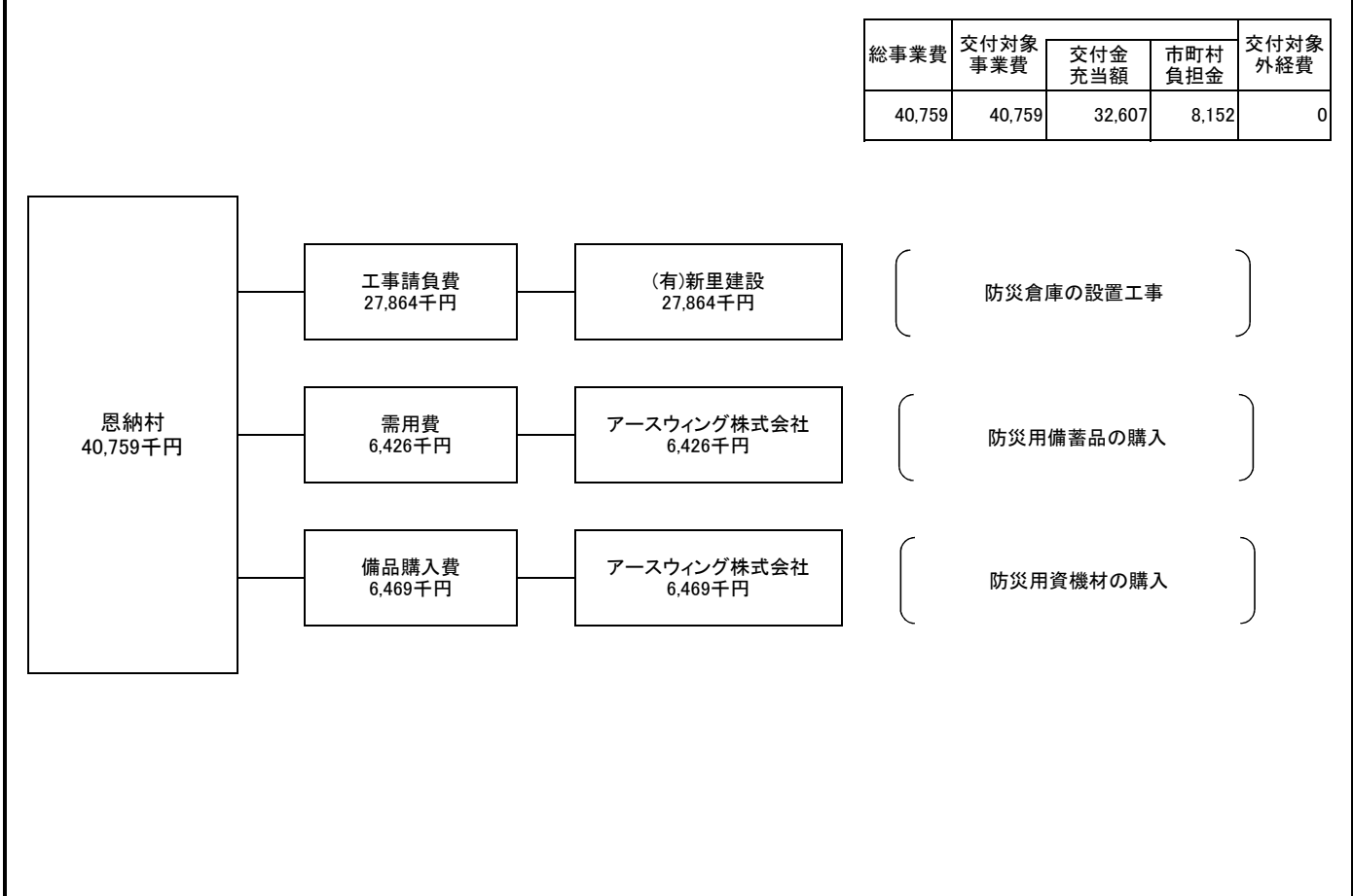
市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	防災倉庫整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する場所に防災資機材や備蓄食糧等の生活物資を保管する備蓄倉庫を整備し、防災活動基盤を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)	(a) 当初予算額	45,581				
		(b) 予算現額	41,173				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,408				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	41,173				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	40,759				
		うち交付金充当額	32,607				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	99.0%					
予算の状況の説明	当初設置する場所の造成費を計上していたが、設置場所を変更したため、予算4,408千円を減額補正した。414千円の不用額が発生したが、工事請負費、備品購入費の入札残等によるものであり、計画当初の事業内容は全て実施し、活動目標、成果目標の達成状況を鑑み適正であるとする。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	備蓄倉庫の整備	目標	(2箇所)	()	()	()	
		実績	2箇所				
	防災資機材の整備	目標	(2箇所)	()	()	()	
		実績	2箇所				
	備蓄食糧等の整備	目標	(2箇所)	()	()	()	
実績		2箇所					
達成状況説明	防災倉庫等整備設置工事の実施により防災倉庫(2箇所)、防災資機材、備蓄食糧を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	計画数5箇所、平成27年度完了予定数2箇所 村指定避難場所における防災倉庫の整備率	目標	()	(40%)	()	()	()
		実績		40%			
	防災資機材の整備率	目標	()	(40%)	()	()	()
		実績		40%			
	備蓄食糧等の整備率	目標	()	(40%)	()	()	()
		実績		40%			
進捗状況説明	計画数5箇所のうち、2箇所の整備を実施した。また、備蓄食糧も整備したことから、災害時の住民、観光客等の安心・安全を高めることができる。今後は、これらの資機材を使用した防災訓練を行い、有事に備えたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災倉庫、防災資機材、備蓄食糧を整備することはできたが、その管理や、実際に災害が発生した際に食糧の配布方法、資機材の取り扱い方法について関係機関との研修、勉強会が必要である。	災害時に備え、研修会や勉強会を実施し、備蓄食糧の配布方法のマニュアル化、資機材の取り扱い技術の修得を図る。

今後の取り組み方針

職員、区長、住民及び関係機関へ防災意識の高揚を推進しながら積極的に防災訓練を実施し、災害に強い安心・安全な観光地づくりを推進する。
引き続き平成28年度整備予定の3箇所の整備を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当である と考える。 ○予算規模は概算積算書に基づいており、事業内容に見 合った適正な規模であるとする。 ○費目・用途については、支出に関する書類により確認し、 適正であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	仲泊校ICT教育機器整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会・情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	マルチメディア情報を豊富に含むデジタル教材を使用した授業を行うことで、学習内容を教師が具体的に分かりやすく説明することが可能となり、児童生徒の学習への興味関心を高め、学力の向上を図るためICT教育機器を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	43,660				
		(b) 予算現額	39,074				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,586				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		39,074				
	B. 執行済額		39,074				
	うち交付金充当額		31,259				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		H27.6.1指名競争入札により41,234千円で落札。入札残2,425千円を12月補正で減額した。当初事業対象経費としていた学習支援ソフトの一部を対象外とした為4,586千円の減額となった。当初計画した事業内容は全て実施しており活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	可動式コンピュータ63台 電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン13台 実物投影機8台 パソコン教室用コンピュータ40台 管理サーバ1台 接続用ケーブル式ソフトウェア式 フラッシュ教材等デジタル教材一式	目標	(100%)	()	()	()	
		実績	100%				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	可動式コンピュータ63台 電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン13台 実物投影機8台 パソコン教室用コンピュータ40台 管理サーバ1台 接続用ケーブル式 ソフトウェア式 フラッシュ教材等デジタル教材一式を整備したが、当初整備対象としていた学習支援ソフトの一部を交付対象外経費とした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差	目標	(県平均68.7% 村平均62.2%)	(4%以内)	()	()	()
		実績		1%			
	小学校5年生 算数	目標	(県平均56.1% 村平均52.5%)	(2%以内)	()	()	()
	中学校2年生 数学	実績		3.4%			
	進捗状況説明	小学校5年生においては、県平均37.0%、村平均36.0%となり、沖縄県学力到達度調査において県との差4%以内という目標値を達成できたが、中学2年生においては、県平均42.7%、村平均39.3%となり、目標値の県との差2%以内を達成できなかった。今後もICT教育機器を有効に活用し、学力の向上に努める。					

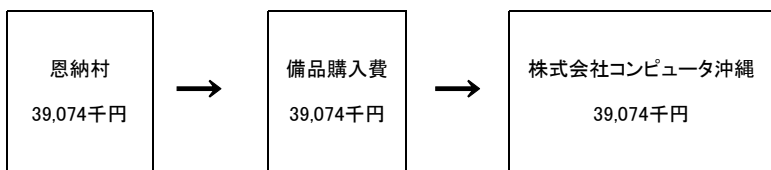
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	全学年へICT教育機器の整備がされたが、学級毎に活用頻度の差があるので、児童生徒の学習への興味関心を高めるよう分かりやすい授業の構築が必要である。	日常授業改善のための効果的なICT活用を継続・定着させる指導・研修モデルの構築を図る。

今後の取り組み方針

- ・日常授業改善の大きな柱としての「校内研修」では、事前授業検討会→公開授業&研究授業→事後授業検討会を経て、日々の授業に繋がる視点や見方を共有していく。
- ・事前授業検討会で、職員同士(若手、中堅、ベテラン)で互いの授業を見合い、授業技術を高め、児童生徒の学力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
41,234	39,074	31,259	7,815	2,160



- 可動式コンピュータ63台
- 電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン13台
- 実物投影機8台
- パソコン教室用コンピュータ40台
- 管理サーバ1台
- 接続用ケーブル式
- ソフトウェア式

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札による選定で妥当であったと考えている。 ○文部科学省の学校におけるICT環境整備の「IT新改革戦略」の標準法に基づく目安の台数となっており適正と考える。 ○費用・用途についても目的に即し必要なものに限定したと判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	仲泊校窓ガラス遮光・遮熱対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-(ア)	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	多目的スペース窓ガラスからの入り日と普通教室窓ガラスから海面の反射光と西日により、黒板の字が見えづらく、授業に支障をきたしている。また、児童生徒及び教師の健康面、特に眼科疾病等が心配されるため窓ガラスへ遮光・遮熱ロールカーテンを設置することにより太陽光を適切に遮光・遮熱することで快適な学習環境を提供する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,790				
		(b) 予算現額	2,031				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 759				
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		2,031				
	B. 執行済額		2,030				
	うち交付金充当額		1,624				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		H27.5.13 指名競争入札 2,030千円で落札。入札残759千円を12月補正で減額した。当初計画した事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	遮光・遮熱ロールカーテン設置 多目的スペース3ヶ所 普通教室 9ヶ所	目標	(12か所)	()	()	()	
		実績	12か所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	遮光・遮熱ロールカーテンを多目的スペース3ヶ所 普通教室 9ヶ所に設置し太陽光を適切に遮光・遮熱することで快適な学習環境が提供できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	適切な遮光による快適な学習環境の確保	目標	()	(快適な学習環境の確保)	()	()	()
		実績		快適な学習環境の確保			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成27年6月に設置完了したことにより夏季の入り日や西日を適切に遮光できた。懸念されていた眼科疾病等の健康被害を予防できると考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>多目的スペース窓ガラスからの入り日と普通教室窓ガラスから海面の反射光と西日により、黒板の字が見えづらく、授業に支障をきたしていた。</p> <p>窓ガラスへ遮光・遮熱ロールカーテンを設置することにより太陽光を適切に遮光・遮熱することで快適な学習環境を提供でき、児童生徒及び教師の健康面、特に眼科疾病等の心配がなくなった。</p>	<p>当初計画した事業はすべて実施し課題は解決したが、その他の阻害要因がないか引き続き教育現場と調整していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>村内各学校へ快適な学習環境を提供できるよう連携を図る。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付金</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>充当額</th> <th>市町村負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,030</td> <td>2,030</td> <td>1,624</td> <td>406</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	2,030	2,030	1,624	406	0
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費												
		充当額	市町村負担金													
2,030	2,030	1,624	406	0												
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 恩納村 2,030千円 </div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 備品購入費 2,030千円 </div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 株式会社加島事務機 2,030千円 </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="font-size: 24px;">{</div> <p>遮光・遮熱ロールカーテン設置 多目的スペース3ヶ所 普通教室 9ヶ所</p> <div style="font-size: 24px;">}</div> </div> </div>																
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札による選定で妥当であったと考えている。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においても見積もりにより積算しており、入札残による補正減はしたが、適正な規模と考える。													
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途についても目的に即し必要なものに限定したと判断している。													

市町村名		恩納村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	小学校デジタル教科書整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(ア)	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学習意欲の向上と学力の向上を図るため、従来の教科書と併せてマルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書のメリットを活用したわかりやすい授業を行うための環境整備として、全小学校の全学級へデジタル教科書を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,109				
		(b) 予算現額	10,460				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 649				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	10,460				
	B. 執行済額		10,459				
	うち交付金充当額		8,367				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		H27.5.13指名競争入札 10,459千円で落札。入札残649千円を12月補正で減額した。当初計画した事業内容は全て実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	村内全小学校(5校)へデジタル教科書の整備		目標	(100%)	()	()	()
	小学校国語/1年～6年 小学校書写/1年～6年 小学校社会/4年～6年 小学校音楽/1年～6年 小学校社会/地図帳 小学校算数/1年～6年 小学校理科/1年～6年 小学校図画工作/1年～6年 小学校家庭科/5.6年		実績	100%			
			目標	()	()	()	()
			実績				
	達成状況説明	当初予定していた村内全小学校(5校)へデジタル教科書の整備を完了した。 小学校国語/1年～6年 小学校書写/1年～6年 小学校社会/4年～6年 小学校音楽/1年～6年 小学校社会/地図帳 小学校算数/1年～6年 小学校理科/1年～6年 小学校図画工作/1年～6年 小学校家庭科/5.6年					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差		目標 (県平均68.7% 村平均62.2%)	(4%以内)	()	()	()
	小学校5年生 算数4%以内		実績	1%			
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差		目標 (県平均56.1% 村平均52.5%)	(2%以内)	()	()	()
	中学校2年生 数学2%以内		実績	3.4%			
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生の沖縄県学力到達度調査において県平均との差が目標値(4%以内)を上回った。【実績値(H27年度)】小学校5年生 算数 県平均37.0% 村平均36.0% 中学2年生 数学については、県との平均正答率の差目標値の2%以内を達成できなかった。【実績値】中学2年生 県平均42.7% 村平均39.3% 基準年(H26)では、県平均との差が3.6%であったが、平成27年度で3.4%差とした。中学校においてもデジタル教科書を活用し、県平均との差2%以内を目標に学力の向上を図る。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>全学年へICT教育機器の整備がされたが、学級毎に活用頻度の差があるので児童生徒の学習への興味関心を高めるよう分かりやすい授業の構築が必要である。</p>	<p>日常授業改善のための効果的なICT活用を継続・定着させる指導・研修モデルの構築を図る。</p>

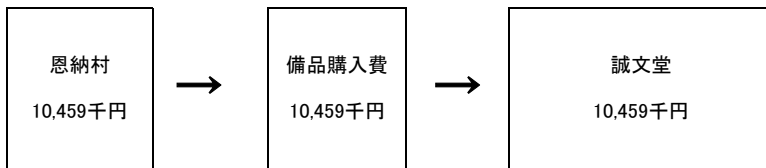
今後の取り組み方針

日常授業改善の大きな柱としての「校内研修」では、事前授業検討会→公開授業&研究授業→事後授業検討会を経て、日々の授業に繋がる視点や見方を共有していく。

事前授業検討会で、職員同士(若手、中堅、ベテラン)で互いの授業を見合い、授業技術を高め児童の学力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,459	10,459	8,367	2,092	0



村内全小学校(5校)へデジタル教科書の整備
 小学校国語/1年～6年
 小学校書写/1年～6年 小学校社会/4年～6年
 小学校音楽/1年～6年 小学校社会/地図帳
 小学校算数/1年～6年 小学校理科/1年～6年
 小学校図画工作/1年～6年 小学校家庭科/5.6年

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札による選定で妥当であったと考えている。 ○文部科学省の学校におけるICT環境整備の(教育の情報化に必要なソフトウェアの分類)にあることから必要なものであったと判断した。 ○費用・使途についても目的に即し必要なものに限定したと判断している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	優良繁殖牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(ア)	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	恩納村村内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,800				
		(b) 予算現額	2,917				
		(c) 増減額 (b-a)	117				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		2,917				
	B. 執行済額		2,836				
	うち交付金充当額		2,269				
	次年度繰越額						
執行率 (%) (B/A)		97.2%					
予算の状況の説明	不用額81千円については、セリ価格の変動によるものであり、当初計画していた頭数をすべて導入することができ、活動目標、成果目標を鑑みて適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	優良繁殖牛の導入支援	目標	(7頭)	()	()	()	
		実績	7頭				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の計画どおりに7頭の導入支援を実施し、H27の目標が達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	優良繁殖牛導入頭数	目標	()	(7頭)	()	()	()
		実績		7頭			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初の計画どおりに7頭導入されたことで、優良繁殖牛より産まれた子牛の販売価格が安定・高値で取引され、農家の所得向上や経営安定化が期待される。また、村産の肉用牛の品質向上につながり、産地基盤強化が図れる。					

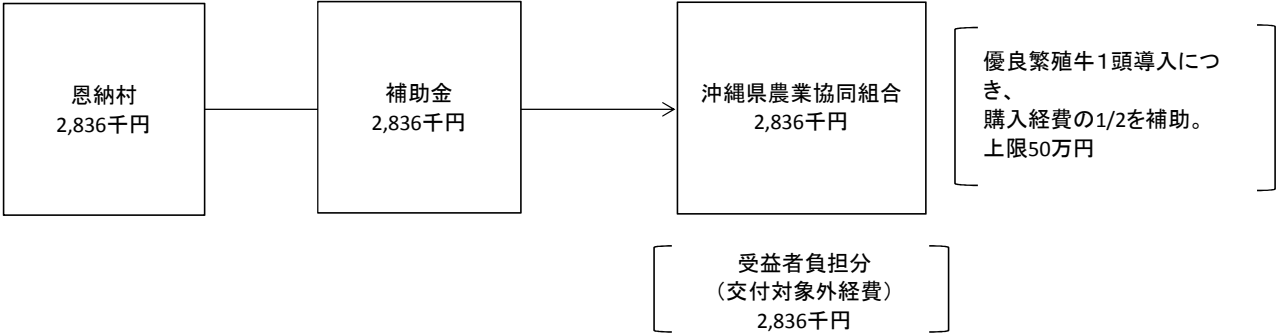
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>村内の繁殖牛農家において優良繁殖牛を購入し、その繁殖牛から子牛を生産して所得向上と経営安定化を図りたいところだが、優良繁殖牛の価格も高騰しているため、農家の負担が大きく購入するまでに至っていない。そこで、農家の所得向上・経営安定を図り、産地基盤の強化につなげるため、1農家1頭の導入支援を行った。</p>	<p>1農家1頭の導入支援を実施したことにより生産農家の負担が軽減された。引き続き平成28年度も1農家1頭の導入支援を行っていく。またJA等の関係機関と連携し、技術指導をおこない、子牛の安定生産に向けた取り組みを強化していく。</p>

今後の取り組み方針

平成28年度は対象農家が1件増のため、8頭を導入支援する予定である。
 今後は導入支援した繁殖牛を中心に、優良牛の生産に努め、産地基盤の強化を図りたい。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,672	2,836	2,269	567	2,836



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付団体は本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算内で予定頭数を導入できたため、妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は5割であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費確定時に関係書類を精査したところ、使途は目的に即し、必要なものに限定されている。